**市民意識調査及び事業所調査の結果について**

令和５年2月15日

**市民意識調査**

実施時期：令和4年9月22日（木）～10月20日（木）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 配布数 | 回答数 | 回答率 |
| 身体障害者手帳所持者 | 500件 | 310件 | 62.0％ |
| 愛の手帳所持者 | 300件 | 169件 | 56.3% |
| 精神障害者手帳所持者 | 500件 | 257件 | 51.4％ |
| 難病医療券交付者 | 200件 | 104件 | 52.0％ |
| 障害児サービス利用者 | 200件 | 135件 | 67.5％ |
| 一般 | 300件 | 140件 | 46.7％ |
| 総計 | 2,000件 | 1,115件 | 55.8％ |

**事業所調査概要**

実施時期：令和４年11月14日（月）～11月30日（水）

対　象　：市内障害福祉サービス事業所

回収率　：７５％

**障害当事者市民意識調査結果（一部抜粋）**

住まいや暮らしについて

**問　生活において不安に感じることをお答えください（複数回答可）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| 1位 | 障害や健康のこと | 将来のこと | 障害や健康のこと | 障害や健康のこと | 将来のこと |
| 2位 | 将来のこと | 障害や健康のこと | 将来のこと | 将来のこと | 進学・学校生活のこと |
| 3位 | 生活費のこと | 生活費のこと | 生活費のこと | 生活費のこと | 就職・仕事のこと |
| 4位 | 介助（支援）のこと | 生活全般を見守ってくれる人のこと | 就職・仕事のこと | 就職・仕事のこと | 障害や健康のこと |
| 5位 | 生活全般を見守ってくれる人のこと | 就職・仕事のこと | 住宅・生活の場所のこと | 住宅・生活の場所のこと | 生活全般を見守ってくれる人のこと |

サービスの利用について

**問　制度やサービス等を利用して不満に思うことがありますか（複数回答可）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| 1位 | 相談や手続きに時間がかかり面倒くさい | 身近なところでサービスを利用できない | サービス内容に関する情報が少ない | サービス内容に関する情報が少ない・相談や手続きに時間がかかり面倒くさい | 利用回数・時間等に制限がある |
| 2位 | サービス内容に関する情報が少ない | サービス内容に関する情報が少ない | 相談や手続きに時間がかかり面倒くさい | 相談や手続きに時間がかかり面倒くさい |
| 3位 | 利用回数・時間等に制限がある | 利用回数・時間等に制限がある | 身近なところでサービスを利用できない | サービス内容が障害特性に合っていない・身近なところでサービスを利用できない | 利用したい日・時間に利用できない |
| 4位 | 身近なところでサービスを利用できない | 相談や手続きに時間がかかり面倒くさい | 利用したい日・時間に利用できない | 身近なところでサービスを利用できない・利用料が高い |
| 5位 | 利用したい日・時間に利用できない | 利用したい日・時間に利用できない | 利用料が高い | 利用回数・時間等に制限がある |

**問　障害福祉サービスの利用にあたり相談支援事業所に相談したことがありますか**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 選択肢 | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| 相談したことがある | 17.4％ | 36.1％ | 30.4％ | 17.4％ | 37.0％ |
| 相談したことはない | 62.6％ | 49.1％ | 54.5％ | 62.6％ | 62.2％ |
| 無回答 | 20.0％ | 14.8％ | 15.2％ | 20.0％ | 0.7％ |

**問【相談したことがある方のみ回答】相談することに関して不満に思うことはありますか**

**※複数回答可**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 選択肢 | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| 相談支援事業所の職員の知識や経験が不足している | 14.8％ | 18.0％ | 10.3％ | 　0.0％ | 8.0% |
| すぐに相談できなかった（相談を受けてもらうまでに時間がかかった） | 5.6％ | 8.2％ | 21.8％ | 0.0％　 | 14.0％ |
| 希望したところに断られた | 1.9％ | 4.9％ | 3.8％ | 　0.0％ | 2.0％ |
| その他 | 24.1％ | 26.2％ | 14.1% | 12.5％ | 44.0％ |

【主なその他意見】

　・本人の障害特性との相性、理解する能力を持つ人が少ないから（知的）

　・利用している施設が遠く、なかなか行くことができないので電話対応となっている（精神）

　・相談してから次の連絡が来るのが遅い（難病）

　・相談したが何の解決にもならなかった（児童）

　・「様子をみましょう」で放置され具体的なアドバイスもなく、結局自分で動いて民間サービスを利用した（児童）

　・専門病院や市のサービスは、待たされる時間も長く空きもないので頼れない（児童）

　・相談員と親の相性が微妙だが、他に人がいないので担当を変えられない（児童）

　・大量な紙書類の提出が多すぎる（児童）

　・職員の知識や経験が豊富で相談内容に対して迅速に対応してくれて大変満足している（児童）

　・こちらから相談しないと提案がない（児童）

**問　【相談したことはないと回答した方のみ】相談しなかったのはなぜですか**

**※複数回答可**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 選択肢 | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| 相談支援事業所があることを知らなかったから | 40.7％ | 34.9％ | 63.6％ | 26.4％ | 59.5％ |
| 相談する時間がなかったから（すぐにサービスを受けたかった） | 5.2％ | 9.6％ | 3.6％ | 1.4％ | 19.0％ |
| すぐに相談できなかったから（相談を受けてもらうまでに時間がかかる） | 0.5％ | 3.6％ | 4.3％ | 1.4％ | 9.5％ |
| 希望したところに断られた | 　 0.0％　 | 2.4％ | 2.1％ | 0.0％　 | 2.4％ |
| その他 | 31.4％ | 31.3％ | 11.4％ | 27.8％ | 13.1％ |

【主なその他意見】

　・今のところ相談する必要（要件）がないから（身体ほか意見多数）

・市役所の窓口で必要な説明は受けたため（身体）

　・ケアマネージャー、訪問看護師に相談できているため（身体）

　・親が色々調べて知っていたから（身体）

　・親族が利用しているため知識があった（知的）

　・特別支援学校の時からつながりのある生活・就労支援センターに相談できているため（知的）

　・どこも利用者が一杯で利用断られる（知的）

　・この数年コロナの流行のため、ワクチン接種の関係で自由に見学等できなかったため（知的）

　・相談支援事業所がどんなところなのかわからない（精神）

　・市役所で悩みを話したが、そんな支援事業を教えてもらえなかった（精神）

　・セルフプランで行うよう市役所に言われたため（児童）

　・障害福祉サービス自体を知らなく、何があるのか情報がない（児童）

　・どこに相談してよいのか相談支援事業所はどこにあるのか、今もわからない（児童）

教育・就労について

**問　学校教育に望むことはどのようなことですか（複数回答可）**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 回答 |
| 能力や障害の状況に合った指導をしてほしい | 49.4％ |
| 就学相談や進路相談等、相談体制を充実させてほしい | 44.4％ |
| 将来やってみたいと思う仕事に必要な勉強・実習等を充実してほしい | 43.3％ |
| 生活や学習面での困難を克服できるよう指導してほしい | 42.1％ |
| 放課後や夏休み等に友だちと遊んだり勉強できる場所を充実してほしい | 38.8％ |
| 個別指導を充実してほしい | 35.4％ |
| 学校内の介助（支援）体制を組んでほしい | 21.9％ |
| 施設、設備、教材を充実してほしい | 19.1％ |
| 自分の身体や健康のことを学べる機会を充実してほしい | 16.9％ |
| 通常の学級との交流機会を増やしてほしい | 15.7％ |
| 障害の状況に関わらず、通常の学級で受け入れてほしい | 9.0％ |
| 特に望むことはない | 7.3％ |
| その他 | 6.2％ |

【主なその他意見】

・通常級の生徒さんの支援学級の生徒についての理解を深めてほしい

・教員の事務負担を減らして、児童・生徒への指導を手厚くしてほしい

**問　働くためには、どのようなことが必要だと思いますか（複数回答可）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| 1位 | 健康状態に合わせた働き方ができること | 障害のある人に適した仕事であること | 健康状態に合わせた働き方ができること | 健康状態に合わせた働き方ができること | 障害のある人に適した仕事であること |
| 2位 | 障害のある人に適した仕事であること | 職場に長くいられるように支援してくれること | 近くに働く場所があること | 近くに働く場所があること | 近くに働く場所があること |
| 3位 | 近くに働く場所があること | 近くに働く場所があること | 障害のある人に適した仕事であること | 自宅で働けること | 職場に長くいられるように支援してくれること |
| 4位 | 働く場所を紹介したり、相談できる場所があること | 事業主や職場の人たちが障害のある人について十分理解していること | 職場に長くいられるように支援してくれること | 働く場所を紹介したり、相談できる場所があること・職場に長くいられるように支援してくれること | 事業主や職場の人たちが障害のある人について十分理解していること |
| 5位 | 自宅で働けること | 健康状態に合わせた働き方ができること | 働く場所を紹介したり、相談できる場所があること・事業主や職場の人たちが障害のある人について十分理解していること | 働く場所を紹介したり、相談できる場所があること |

災害・権利擁護について

**問　災害等の緊急時に一人で避難できると思いますか**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 選択肢 | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| できると思う | 42.3％ | 31.4％ | 44.0％ | 51.9% | 5.2% |
| できないと思う | 39.4％ | 50.3％ | 28.0％ | 26.9% | 78.5% |
| わからない | 10.6％ | 14.2％ | 24.1％ | 14.4% | 14.8% |
| 無回答 | 7.7％ | 4.1.％ | 3.9％ | 6.7% | 1.5% |

**問　できないと思う理由（複数回答可）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 選択肢 | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| 家族・介助（支援）者等の手助けがないため | 41.0％ | 37.6％ | 44.4％ | 60.7% | 65.1% |
| 避難場所が遠いため | 25.4％ | 5.9％ | 19.4％ | 21.4% | 3.8% |
| 避難場所や行き方がわからないため | 18.0％ | 29.4％ | 29.2％ | 17.9% | 30.2% |
| 避難場所へ行く手段がないため | 27.9% | 10.6％ | 18.1％ | 32.1% | 4.7% |
| 緊急時がどんな時かわからないため | 16.4％ | 49.4％ | 31.9％ | 7.1% | 40.6% |
| 緊急時の情報が入らないため | 15.6％ | 20.0％ | 20.8％ | 3.6% | 8.5% |
| その他 | 24.6％ | 20.0％ | 13.9％ | 3.6% | 18.9% |

**問　あなたは「日野市障害者差別解消推進条例」について知っていますか（１つに○）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 選択肢 | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| 内容までよく知っている | 4.8％ | 4.7％ | 4.7％ | 1.9% | 3.7% |
| 名前を聞いたことがあるが、内容はよく知らない | 24.2％ | 23.1％ | 21.4％ | 16.3% | 35.6% |
| 聞いたことがない/初めて聞いた | 61.0％ | 63.3％ | 70.4％ | 76.0% | 60.0% |
| 無回答 | 10.0％ | 8.9％ | 3.5％ | 5.8% | 0.7% |

**問　あなたは将来どのような暮らしをしたいですか（１つに○）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 選択肢 | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| 現在の家族と一緒に暮らしたい | 49.7％ | 22.5％ | 36.6％ | 51.0% | 37.8% |
| 結婚して家庭を作って暮らしたい | 1.0％ | 10.7％ | 11.3％ | 9.6% | 11.1% |
| 気の合う知人や友人と暮らしたい | 0.6％ | 3.0％ | 1.9％ | 0% | 2.2% |
| 障害のある人が入所する施設や福祉施設等で暮らしたい | 7.4％ | 21.9％ | 4.7％ | 4.8% | 8.1% |
| 一人で暮らしたい | 13.2％ | 11.2％ | 18.3％ | 7.7% | 3.7% |
| 特にない・わからない | 15.5％ | 14.8％ | 18.7％ | 22.1% | 29.6% |
| その他 | 3.5％ | 5.9％ | 1.6％ | 0% | 3.0% |
| 無回答 | 9.0％ | 10.1％ | 7.0％ | 4.8% | 4.4% |

**問　将来に対して不安に感じることはなんですか（複数回答可）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 選択肢 | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| 将来一緒に暮らす家族がいるか | 15.5％ | 26.6％ | 25.7％ | 15.4％ | 41.5％ |
| 一緒に住む家族がいなくなった時、一人で暮らせるか | 30.3％ | 50.9％ | 49.4％ | 29.8％ | 67.4％ |
| 日常の介助（支援）者は確保できるか | 21.3％ | 21.3％ | 18.3％ | 20.2％ | 28.1％ |
| 住宅は確保できるか | 11.3％ | 27.2％ | 36.6％ | 12.5％ | 34.1％ |
| 希望する仕事につけるか | 5.2％ | 21.9％ | 30.4％ | 14.4％ | 44.4％ |
| 働く場はあるか | 6.8％ | 31.4％ | 39.7％ | 21.2％ | 54.8％ |
| 十分な収入は得られるか | 19.4％ | 39.1％ | 65.4％ | 33.7％ | 54.8％ |
| 結婚できるか | 1.3％ | 15.4％ | 14.8％ | 8.7％ | 27.4％ |
| 必要な医療や機能訓練が受けられるか | 15.2％ | 12.4% | 25.3％ | 21.2％ | 30.4％ |
| 希望する施設に入所できるか | 22.3％ | 29.6％ | 17.1％ | 9.6％ | 32.6％ |
| 災害時に支援を受けられるか | 25.8％ | 24.3％ | 24.9％ | 22.1％ | 25.2％ |
| その他 | 3.5％ | 5.9％ | 7.0％ | 2.9％ | 5.2％ |
| 特に不安なことはない | 14.5％ | 7.7％ | 5.4％ | 9.6％ | 5.9％ |
| 無回答 | 17.4％ | 8.9％ | 7.0％ | 16.3％ | 3.7％ |

**問　障害者の人権をまもるためには、これからどのようなことが重要だと思いますか**

**（複数回答可）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 選択肢 | 身体 | 知的 | 精神 | 難病 | 児童 |
| 障害のある人もない人もともに暮らす社会になること | 61.6％ | 63.9% | 63.0％ | 59.6% | 65.9% |
| 様々な場面で障害者が参画できる場面が増えること | 29.7% | 30.2％ | 38.1% | 33.7% | 38.5% |
| 障害者を支援するサービスが充実していくこと | 43.5％ | 56.2％ | 62.3％ | 51.0% | 68.1% |
| 成年後見制度等権利擁護のための法律・制度が充実していくこと | 15.5％ | 28.4％ | 23.7％ | 17.3% | 38.5% |
| 障害者の立場で思いを話してくれる人が増えること | 27.7％ | 47.3％ | 43.2％ | 31.7% | 45.2% |
| 障害者と障害者の団体が力をつけていくこと | 15.8％ | 28.4％ | 24.5％ | 14.4% | 24.4% |
| 障害者が苦情を訴える機会が増えること | 16.1％ | 22.5％ | 34.6％ | 14.4% | 20.7% |
| 情報の保障が十分にされること | 28.7％ | 26.0％ | 40.9% | 28.8% | 45.2% |
| わからない | 9.7％ | 9.5％ | 7.8% | 6.7% | 7.4% |
| その他 | 3.5％ | 4.1％ | 6.6% | 1.0% | 8.9% |

**一般市民意識調査（一部抜粋）**

**問　介助や世話が必要な障害者・障害児と普段交流していますか（複数回答可）**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 回答 |
| 学校で交流している | 0％ |
| 職場で交流している | 12.1％ |
| 地域で交流している | 2.1％ |
| 趣味のサークル活動で交流している | 2.1％ |
| ボランティア活動で交流している | 0.7％ |
| その他 | 7.1％ |
| 交流している人はいない | 75.7％ |

**問　あなたは障害のある方と気軽に話したり障害のある人の手助けをしたことがありますか**

|  |  |
| --- | --- |
| ある | ない |
| 63.6％ | 36.4％ |

**「ある」のはどのような気持ちからでしょうか**　 　**「ない」のはどうしてでしょうか**

|  |  |
| --- | --- |
|  | 理由 |
| １位 | 困っているときはお互い様という気持ちから |
| ２位 | それが当たり前だと思っているから |
| ３位 | 自分の仕事に関連しているから |
| ４位 | 身内などに障害のある人がいて、その大変さを知っているから |
| ５位 | 将来、自分も障害のある状態になるかもしれないから |

|  |  |
| --- | --- |
|  | 理由 |
| １位 | たまたま機会がなかったから |
| ２位 | どのように接したらよいかわからなかったから |
| ３位 | 自分が何をすればよいかわからなかったから |
| ４位 | 何かあったときに責任が取れないから |
| ５位 | お節介になるような気がしたから特に理由はない |

**問　あなたは社会には障害のある方への対応や理解が十分にあると感じますか**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**「全然足りない」「少し足りない」と思う場面**

|  |  |
| --- | --- |
|  | 場面 |
| １位 | 仕事や収入 |
| ２位 | 交通機関や建築物の配慮 |
| ３位 | 教育の機会 |
| ４位 | 街なかでの人の視線 |
| ５位 | 近所づきあい |

**事業所調査（一部抜粋）**

運営状況・サービス提供について

**問　貴事業所において、運営上の課題はどのようなことですか（複数回答可）**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 回答 |
| 職員の確保 | 70.3％ |
| 報酬単価が低い | 39.6％ |
| 専門職の確保 | 37.4％ |
| 利用者の確保 | 22.0％ |
| 経営経費・活動資金が不足している | 19.8％ |
| 職員の定着率が低い | 18.7％ |
| 設備等の職場環境 | 16.5％ |
| 利用者や家族がサービスをよく理解していない | 11.0％ |
| 医療ニーズへの対応 | 11.0％ |
| 情報の入手や活用のしかたが十分ではない | 9.9％ |
| 訪問や送迎が非効率（エリアが広い等） | 8.8％ |
| 他サービス事業所との連携 | 7.7％ |
| 市民・近隣住民の理解 | 7.7％ |
| 他サービス事業所との競合が激しい | 4.4％ |
| 特にない | 1.1％ |
| その他 | 4.4％ |

**問　貴運営法人及び貴事業所では業務量に対する職員（人手）の充足具合はいかがですか**

**問　不足と感じる理由**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 回答 |
| 離職率が高い | 79.5％ |
| 採用が困難 | 78.1％ |
| その他　　　 | 21.9％ |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【その他の例】

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・業務量

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・特定の業務をできる人や有資格者が少ない

**問　業務量に対する職員（人手）が不足する主な理由はどのようなことだと思われますか**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 理由 | 回答 |
| 1位 | 能力や実績に照らして、給与（賃金）や手当が低いため | 43.9％ |
| 1位 | 人員不足による、個々の責任の負担が大きいため | 43.9％ |
| 3位 | 障害福祉事業に対する社会的評価が低いため | 36.8％ |
| 4位 | 精神的負担が大きいため | 35.1％ |
| 5位 | 勤務ローテーションやシフトが不規則なため | 33.3％ |

**問　今までに利用者からの依頼に対してサービス提供ができなかったことはありますか**

|  |  |
| --- | --- |
| ある | ない |
| 69.2％ | 27.5％ |

**問　受け入れできなかった理由**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 回答 |
| 新規利用者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など） | 66.7％ |
| 希望される時間帯（曜日）に利用が集中し、定員に余裕がなかった | 47.6％ |
| 事業所では対応できない困難なケースだった | 23.8％ |
| 希望される時間帯（曜日）にサービス提供をしていなかった（夜間、祝日など） | 11.1％ |

虐待防止について

**問　虐待防止へ取り組まれているものをお答えください（複数回答可）**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 割合 |
| 事業所内ですべての従業員向けに研修を実施している | 90.1％ |
| 虐待防止に関する責任者を定めている | 84.6％ |
| 虐待防止委員会を設置している | 80.2％ |
| 虐待防止マニュアル等を作成しその内容をすべての従業員に周知している | 68.1％ |
| 東京都など外部で実施している研修に事業所管理者や従業員が参加している | 64.8％ |
| 従業員の抱える不安や課題に対応するなどの体制を構築し、従業員の負荷軽減に努めている | 52.7％ |
| 事業所内に虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示している | 50.5％ |
| 虐待事案発生時の対応方法等を具体的に文書化している | 44.0％ |
| 障害のある方やそのご家族、地域の人等に対し虐待の防止に関する普及・啓発を実施している | 18.7％ |
| 地域における虐待防止について事業者間の連携を図っている | 11.0％ |
| その他 | 1.1％ |
| 特に取り組んでいない | 0％ |

災害時の対策について

**問　災害時の対策についてどのような取り組みをしていますか（複数回答可）**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 割合 |
| 定期的に避難訓練を実施 | 69.2％ |
| 備品の整備 | 69.2％ |
| ロッカー、棚等の転倒防止措置 | 65.9％ |
| 災害発生時対応マニュアルを作成 | 62.6% |
| 緊急連絡網の作成 | 　　57.1％ |
| 避難経路の確保 | 54.9％ |
| 利用者・家族等との安否確認や連絡方法の共有 | 41.8％ |
| 利用者・職員情報の紙媒体での保管 | 40.7％ |
| 建物の耐震化 | 37.4％ |
| 利用者・家族との避難場所の共有 | 35.2％ |

医療的ケアについて

**問　医療的ケア児・者を受け入れていますか。（あてはまるもの全てに○）**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 割合 |
| 医療的ケア者を受け入れている | 9.9％ |
| 医療的ケア児を受け入れている | 3.3％ |
| 受け入れていない | 85.7％ |

**＜医療的ケア児・者を受け入れている事業所への質問＞**

**問　医療的ケア児・者を受け入れている中での課題はなんですか。**

　　　・インスリンの管理

　　　・施設入所支援では、生活支援員が研修を受け喀痰吸引等を実施しているが、カニューレを深部まで

挿入できないため、特に夜間帯は看護師不在で吸引が頻回となり、睡眠の妨げになる

・生活介護の通所者は、主治医からの指示書があるが、日常的な医療機関との連携が必要

　　　・たん吸引の指定がおりるまで６ヶ月以上かかる

　　　・看護師、資格を有しているヘルパーの確保

・緊急時に対応してもらえる医療機関が身近にないこと

・医療的ケア児・者の受入を行う相談支援事業所が市内に少なく数ヶ所に集中してしまうこと

・御親さんとの協力関係、安静にすることや計量（酸素濃度）の対応による職員の瞬時の対応と連絡

　　　・医療的ケア者に対する情報や資源の不足（ヘルパー事業所不足や事業所等に関する情報不足）

**問　行政に求める支援はなんですか。**

　　　・報酬増。リスクが高いのにやりたがらない

　　　・医療的ケア者の地域生活を支えるネットワーク作り

　　　・地域生活支援拠点、基幹相談支援を市内につくること

　　　・適正な学校選択の家族支援

　　　・課題解消に向けての取り組み

　　　・資格研修の実施

**＜医療的ケア児（者）の受入れ未実施の事業所への質問＞**

**問　医療的ケア児（者）の受け入れを行っていない理由をお答え下さい。**

**（あてはまるもの全てに○）**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 割合 |
| 医療的ケアを実施するための職員のスキルが不足している | 46.7％ |
| 対象者からの希望がない | 40.0％ |
| 医療的ケアにおける事故等のリスクが大きい | 20.0％ |
| 開設にあたってのイニシャルコストの負担が大きい | 6.7％ |
| 緊急時等の対応についての相談先がない | 6.7％ |
| 報酬単価など継続的に運営する上での財政的負担が大きい | 2.2％ |
| その他 | 8.9％ |

【「その他」の主な意見】

　・現在提供しているサービスで手一杯

**問　利用者から希望があれば医療的ケア児（者）の受け入れを検討しますか。**

**（あてはまるもの１つに○）**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 回答 |
| する | 22.2％ |
| しない | 42.2％ |
| 無回答 | 35.6％ |

**問　今後、医療的ケアの実施を積極的に検討するためには、どのような事項が重要ですか**

・医療的ケアを安心安全に行うための職員の確保、スキル向上

　　　・専門職の確保

・新しい事業を行うためのノウハウ及び財政援助、施設の充実

・専門知識のある職員と医療関係者、機関との連携をバックアップしてもらえる体制づくり

・情報提供

市への要望

**問　貴事業所として市に対して望むことはどのようなことですか（複数回答可）**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 回答 |
| 障害福祉サービス事業従事者の人材確保・定着のための支援 | 62.6％ |
| 障害福祉サービス事業従事者のスキルアップ（育成）のための研修の支援 | 49.5％ |
| 障害福祉に関する最新・適切な情報提供 | 46.2％ |
| 事務手続きの簡略化 | 36.3％ |
| 障害理解に対する啓発 | 36.3％ |
| 処遇困難者への対応 | 35.2％ |
| 障害福祉サービス費請求等に関する相談体制の充実 | 28.6％ |
| 保護者（介護者）支援策の充実 | 26.4％ |
| 不適正な事業所への指導 | 15.4％ |
| 市民への適正なサービス利用についての啓発 | 15.4％ |
| ボランティアの育成 | 9.9％ |
| その他 | 8.8％ |